

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立持田小学校

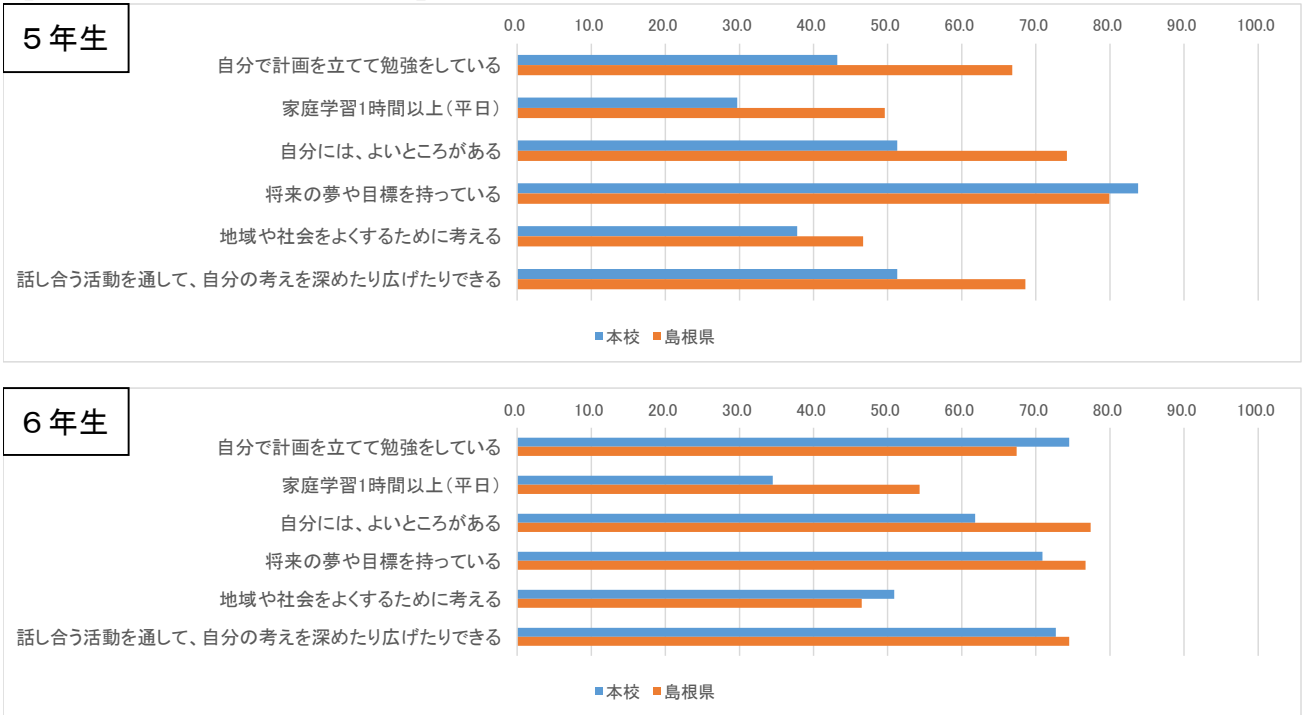
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」についての正答率は比較的良かった。 ●「書く」の分野に課題がある。 ●最後の問題までいけない児童が多い。 ●自分の考えをもつことに課題がある。	○話すこと・聞くことの分野の正答率は高かった。 ○読むこと（物語・説明文）についての正答率は良かった。 ●「言葉の特徴や使い方」「我が国の言語文化に関する事項」の正答率が低かった。 ●最後の書くテストまでたどりつけない児童がいた。 ●昨年度に引き続き、書く力に課題がある。
算数	○正答率を見ると、県や市町村と傾向は変わらない結果と言える。 ●領域では「変化と関係」に課題が見られる。 ●問題から必要な情報を読み取り、数量関係を整理して考えることに課題が見られる。	○拡大図や縮図など作図の練習を積んだことで、理解が深まった。 ○データの活用についても、グラフの作成や読み取りを繰り返し行ったことで知識が定着した。 ○作業を伴う学習については、繰り返し練習を行うことで、知識の理解や技術の定着が促されると考えられる。 ●算数の学習に用いる用語の理解が不十分で、問題を解くにあたり不利に働いている。 ●式の意味を正しく理解したり、筋道立てて考えることに課題が見られる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○規則正しく、自立した生活を送れている。全員が家族と夕食をとっており、家族団楽の時間が取れている。読書をしている。ICTを学習に活かしている。将来の夢や目標を持つことができている。 ●家庭学習において1時間以上勉強している割合が30%と低く、自分で計画を立てて勉強している児童も50%を切っており、家庭での学習において課題が見られる。自己肯定感が県の平均と比較して低い。課題をとらえる視点が自己中心的な部分が多く、周囲の友達や地域社会に広げて様々な意見を取り入れたり課題に気付くことに課題が見られる。	○書き取り、計算会については、自ら計画を立てて学習を行っている児童が多い。また、規則正しく、自立した生活を送れている。全員が家族と夕食をとっており、家族団楽の時間が取れている。学校図書館の資料を使った授業がほかの授業を行うときに役立っていると思っている。ICTを学習に活かしている。将来の夢や目標を持つことができている。また、自分の力をできるだけ伸ばしたいと考えている。 ●家庭学習において1時間以上勉強している割合が35%未満と低く、家庭での学習において課題が見られる。自己肯定感が県の平均と比較して低く、新聞の記事を読んでいる児童が少ない。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

38

名

6年生

58

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)